

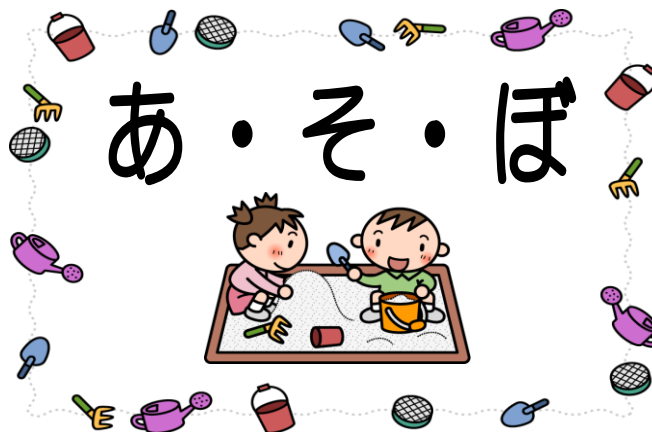


地域子育て支援 ステーション

こども園 いしはら

〒601-8364
京都市南区吉祥院石原南町51
<http://yuuai.holy.jp>
TEL 691-2494

令和6年 8月26日（月）発行 NO.259



理念
社会福祉法人 ゆうあい会
「地域社会とともに歩む」
こども園 いしはら
「あそびの中で学び、
生きる喜びと力を育む」



園庭開放のお知らせ

日時：月～金曜日（祝日はお休み）
11:00～11:30
場所：園庭、第二園庭

おまごとのおもちゃや築山がある園庭で、お子さんとゆっくり遊んでみませんか？【申し込み制】

*来園される方は事前にお電話ください。



▶園周辺の道路は駐車禁止になっています。

～あそぼうDay～

「Happy Halloween！」

日時：9月25日（水）
10:30～11:30

ハロウィングッズを作りながらおしゃべりを楽しんだり、ゆったりとあそんだりしましょう！絵本や紙芝居の読み聞かせなどもしています。

*事前の申し込みが必要ですので、電話にてお申し込みください（3組限定）

▶▶▶ハロウィンはどうして仮装をするの？

ハロウィンになると先祖の霊と一緒に悪霊や魔女もやってきて、人間たちに災いをもたらしたり、いたずらをすると言われていました。身を守るために悪霊や魔女の恰好をして、仲間に見せかけたのが始まりと言われています。

2024年の十五夜は 9月17日（火）です！

▶▶▶お月見ってなあに
お月見は、1年の中で最も空が澄み渡る旧暦の8月に美しく明るい月を眺める行事のことをいいます。

お月見には美しい月を眺めるだけでなく、収穫に感謝して、月に見立てたものや収穫物をお供えするという風習もあります。

▷ススキ
秋の七草の一つでもあるススキには、悪霊や災いなどから収穫物を守り、翌年の豊作を願う意味が込められています。

▷お団子
月に見立てたお団子をお供えすることで、月に収穫の感謝を表します。十五夜では15個、十三夜では13個をピラミッドのようにならべてお供えします。

十五夜の日にはぜひ、月を眺めてみてください。うさぎが見えるかもしれません。